恵　山

札　幌　管　区　気　象　台
地域火山監視・警報センター

○火山活動評価

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況（2021 年７月～2022 年６月）

2021 年７月以降の発表履歴	現在の警報・予報（噴火警戒レベル、キーワード）
変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）

○2021 年７月～2022 年６月の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図１-①、図２～７）

監視カメラによる観測では、Ｙ火口の噴気の高さは火口縁上概ね100m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

2021年10月27日から30日にかけて実施した現地調査では、Ｘ火口及びＹ火口の噴気や火口内の状況に変化はなく、赤外熱映像装置による観測でも地表面温度分布の状況に変化は認められませんでした。

2021年９月２日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、Ｘ火口及びＹ火口の噴気の状況に特段の変化は認められませんでした。また、赤外熱映像装置による観測でも地熱域の状況に特段の変化はありませんでした。

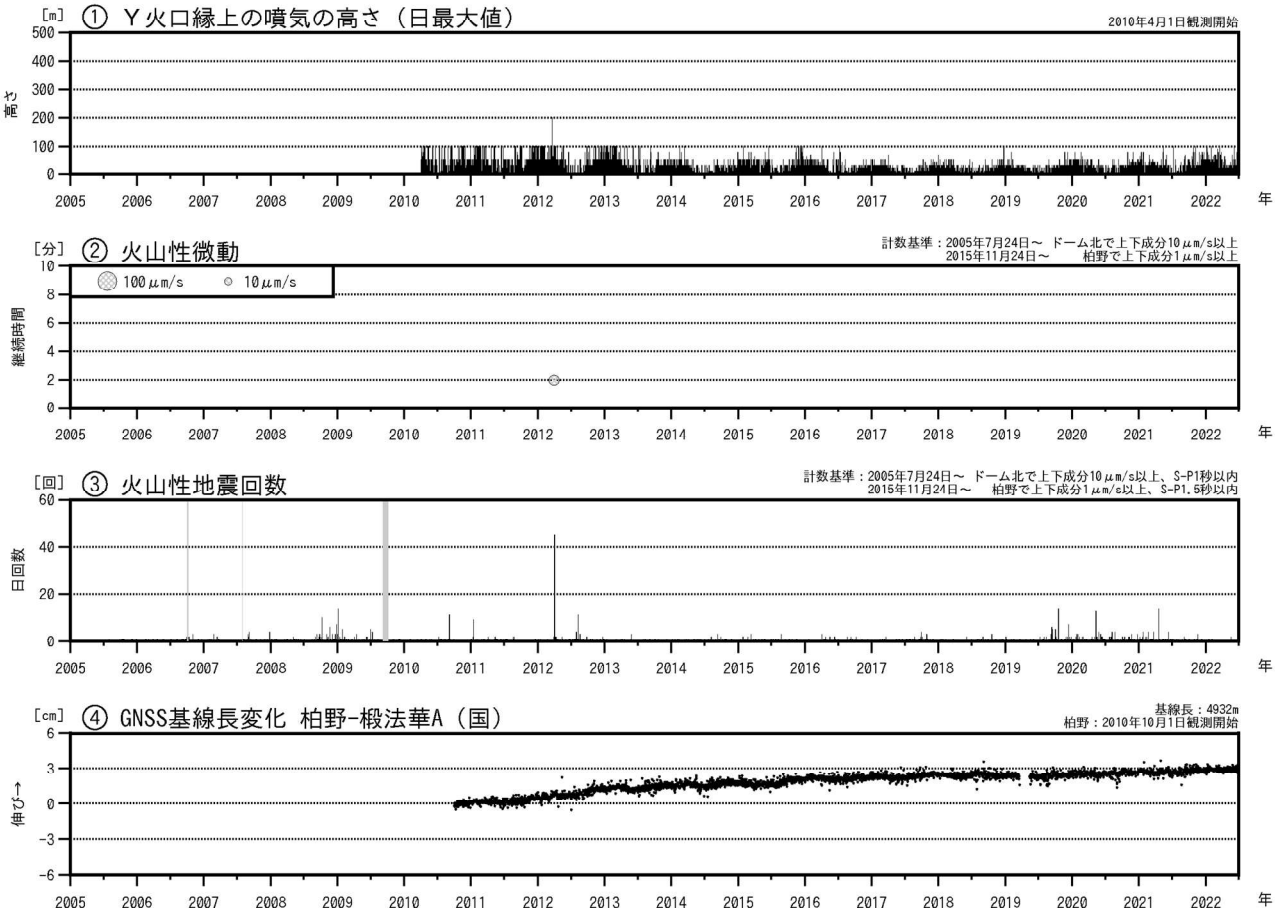
・地震及び微動の発生状況（図１-②③、図８）

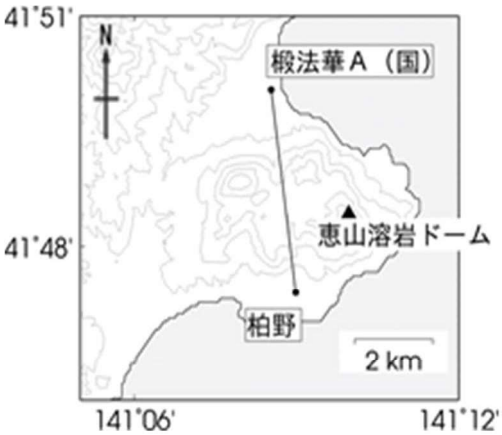
地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図１-④、図９）

GNSS連続観測及び繰り返し観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。





GNSS 連続観測基線図
（国）：国土地理院

図１　恵山　火山活動経過図（2005 年７月～2022 年６月）
③の灰色部分は機器障害による欠測期間を示します。
④のグラフは上図の基線に対応しています。
④のグラフの空白部分は欠測を示します。

図２　恵山　西南西側から見た山頂部の状況（高岱（たかだい）監視カメラによる）

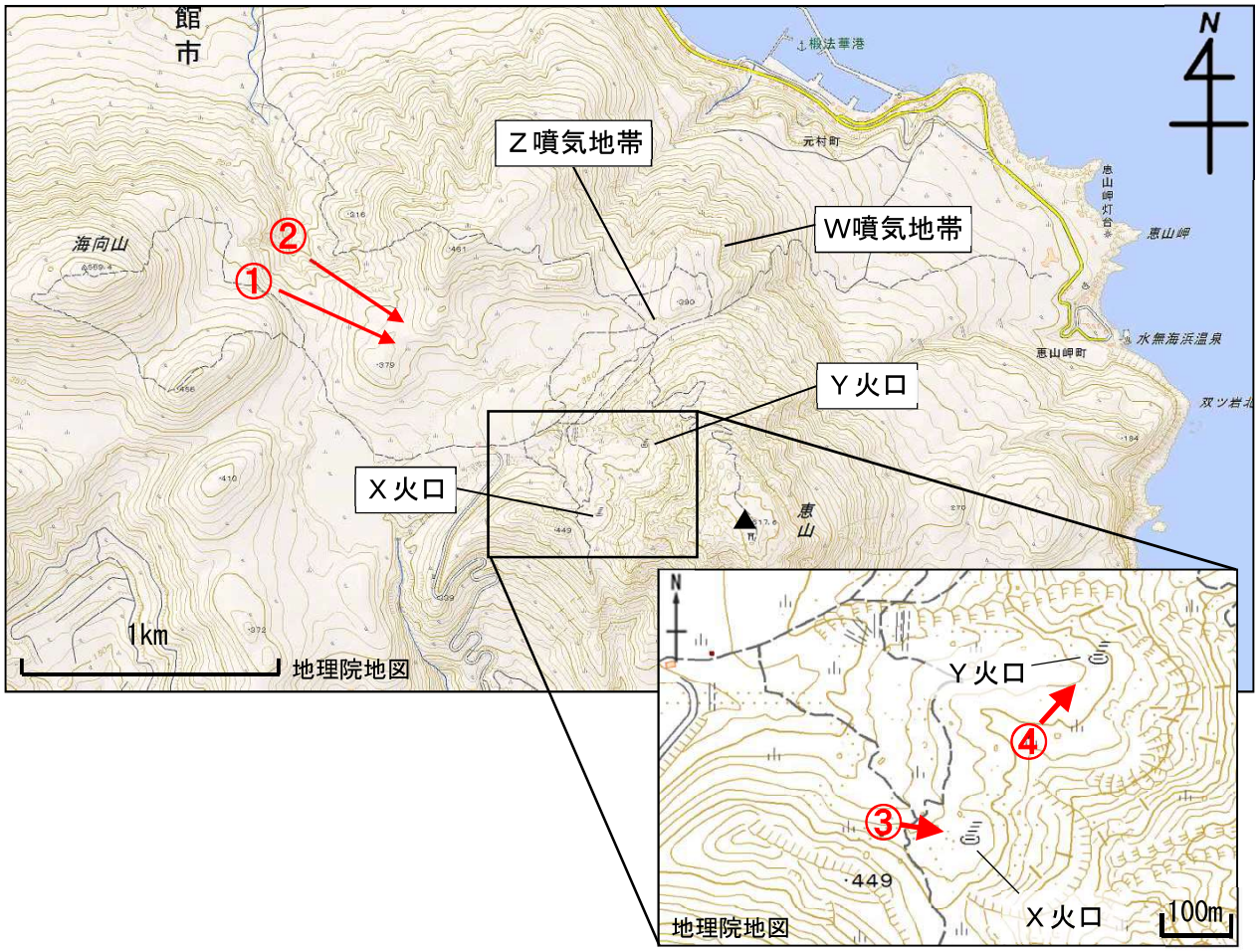


図３　恵山　火口周辺図と写真及び赤外熱映像の撮影方向（矢印）

図４　恵山　山頂ドーム周辺の状況　北西側上空（図３の①）から撮影

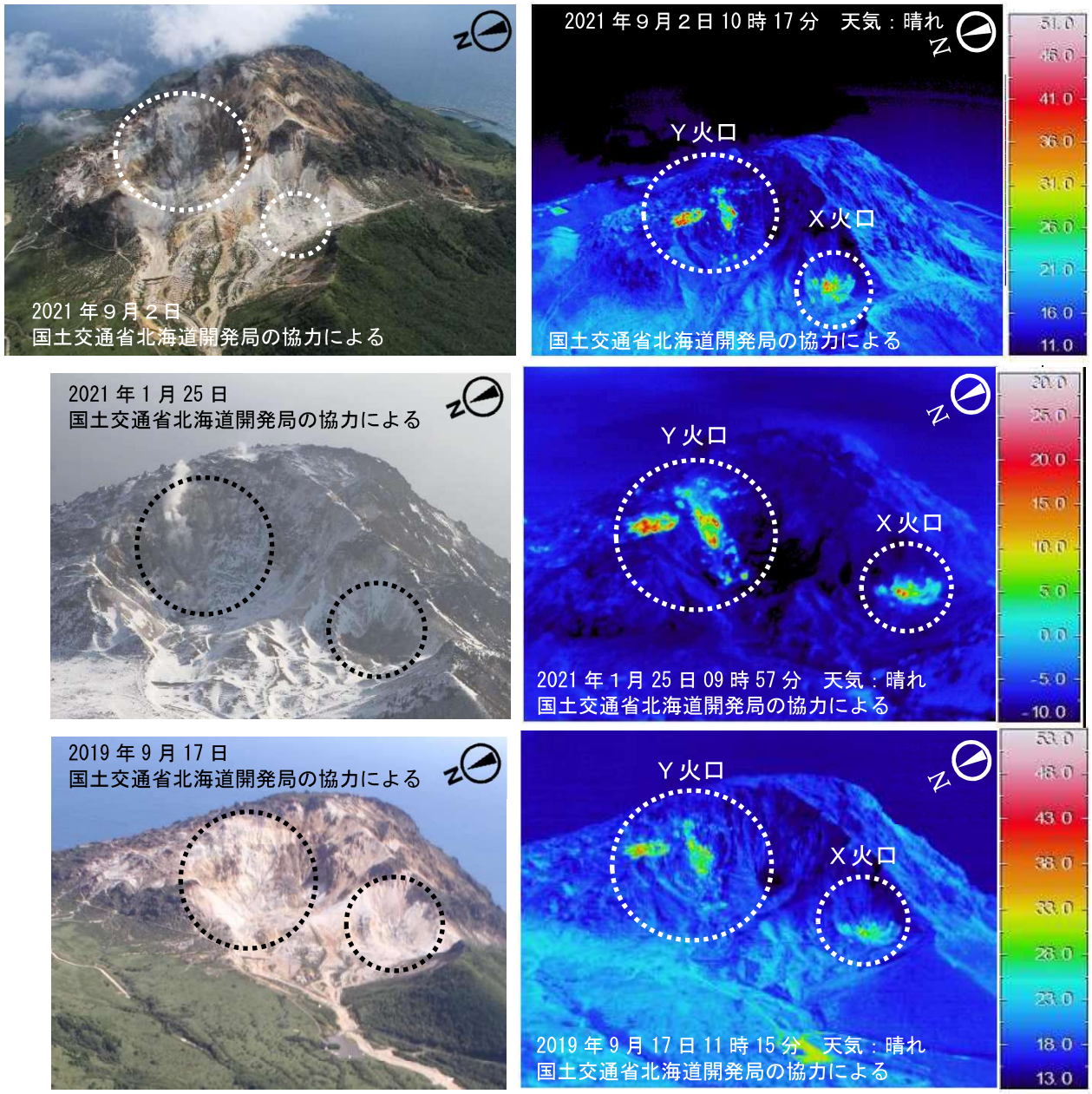


図５　恵山　赤外熱映像装置によるＸ火口及びＹ火口の地表面温度分布

上：北西側上空（図３の①）から撮影　中下：北西側上空（図３の②）から撮影

・過去の観測（2019年９月及び2021年１月）と比べて、地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした。

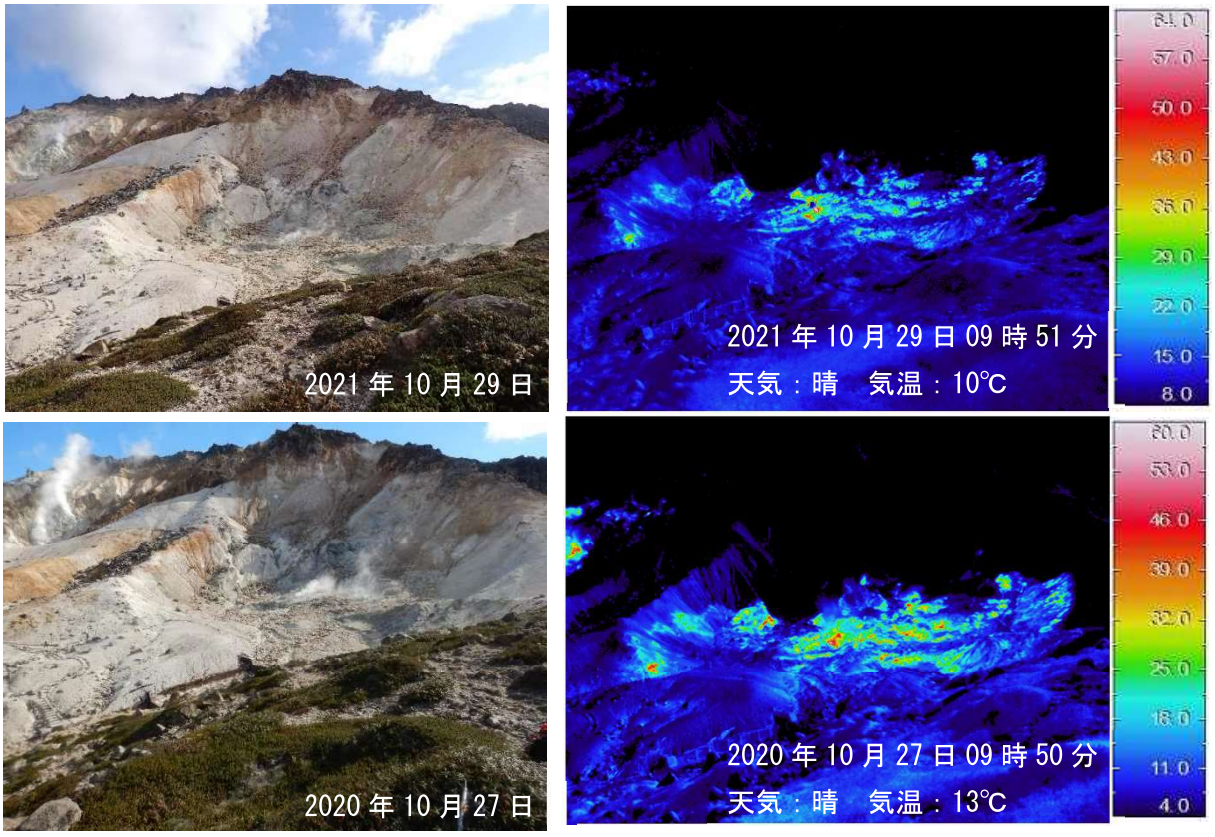


図６　恵山　赤外熱映像装置によるＸ火口内の地表面温度分布
西側（図３の③）から撮影

・前回（2020 年 10 月）の観測と比べて、地表面温度分布に特段の変化はありまんでした。

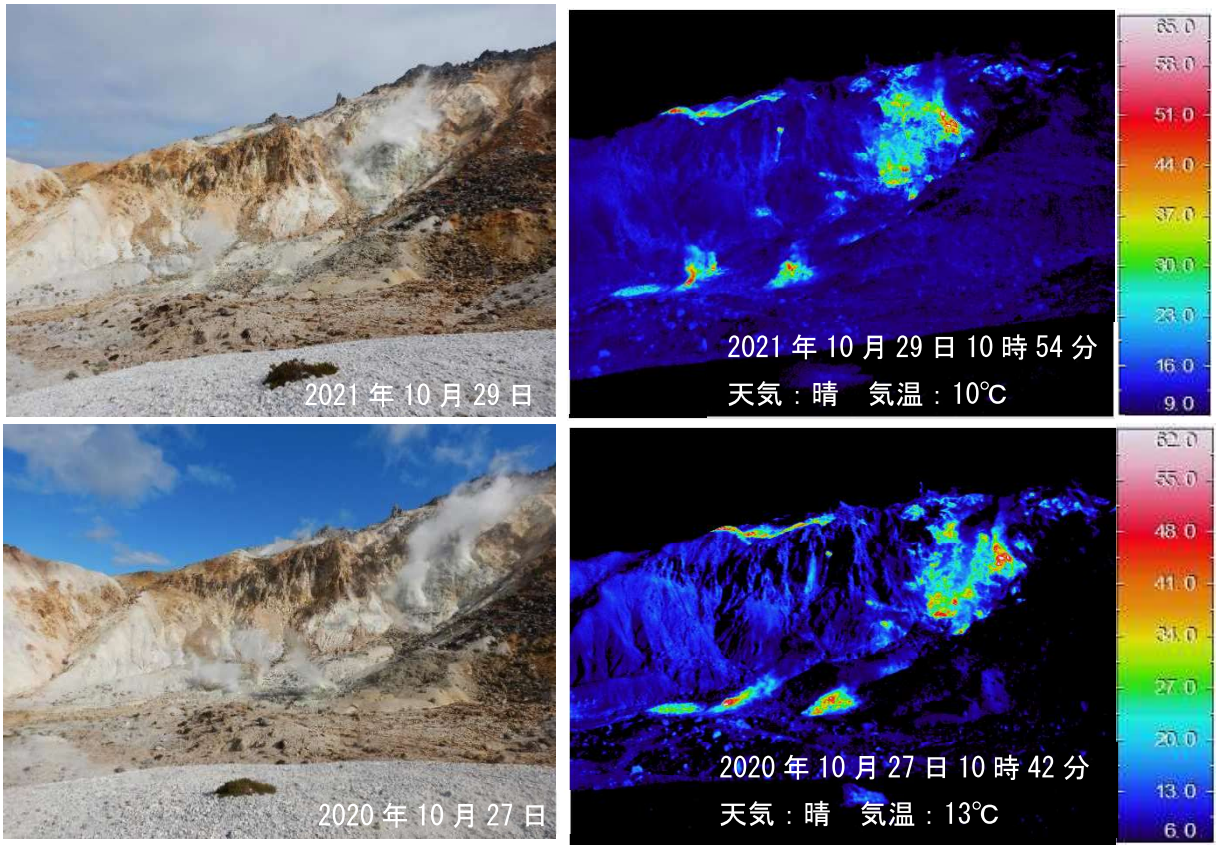


図７　恵山　赤外熱映像装置によるＹ火口内の地表面温度分布
南西側（図３の④）から撮影

・前回（2020 年 10 月）の観測と比べて、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

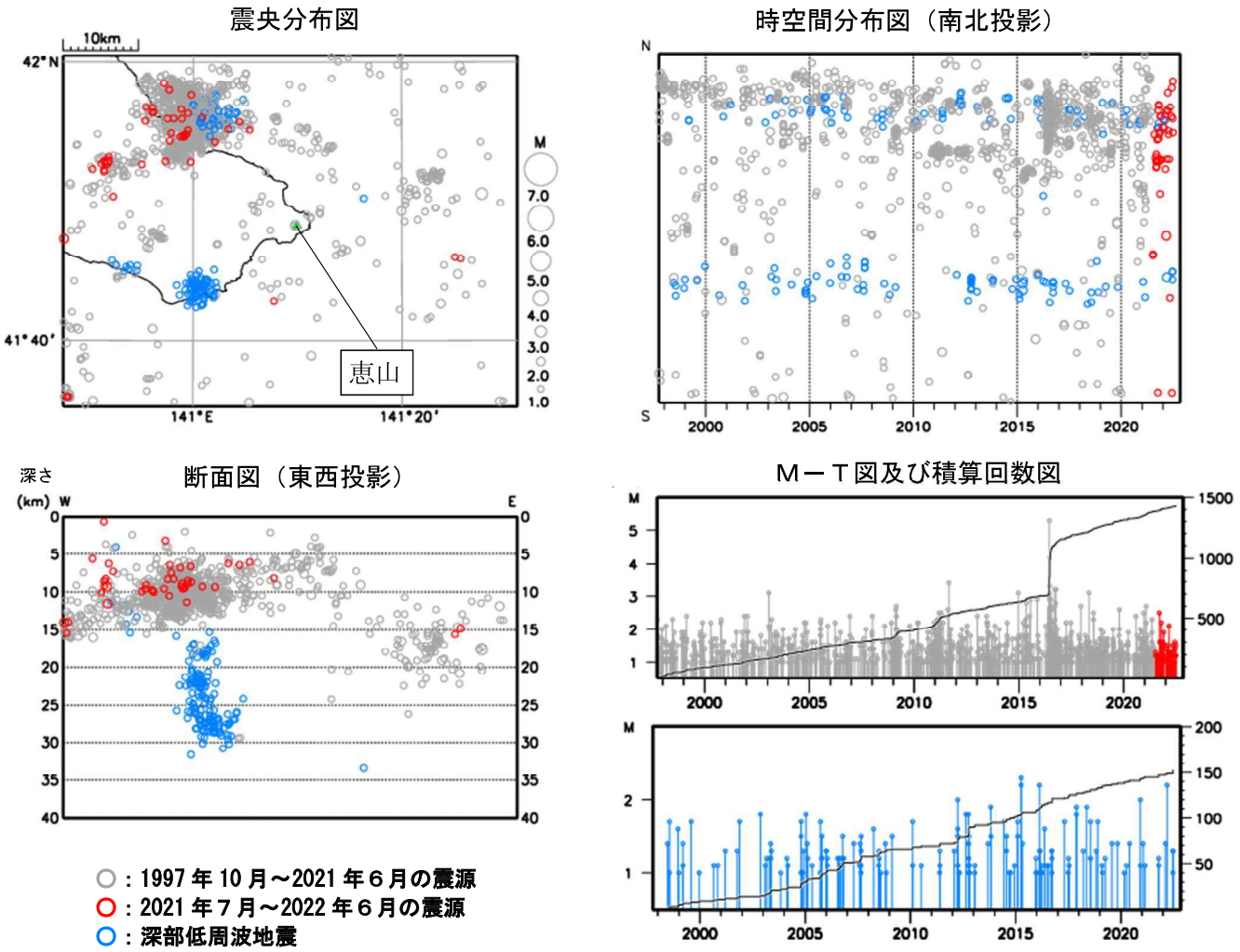


図８　恵山　一元化震源による周辺の地震及び深部低周波地震
（1997 年 10 月～2022 年６月、Ｍ≧1.0、深さ 40km 以浅）

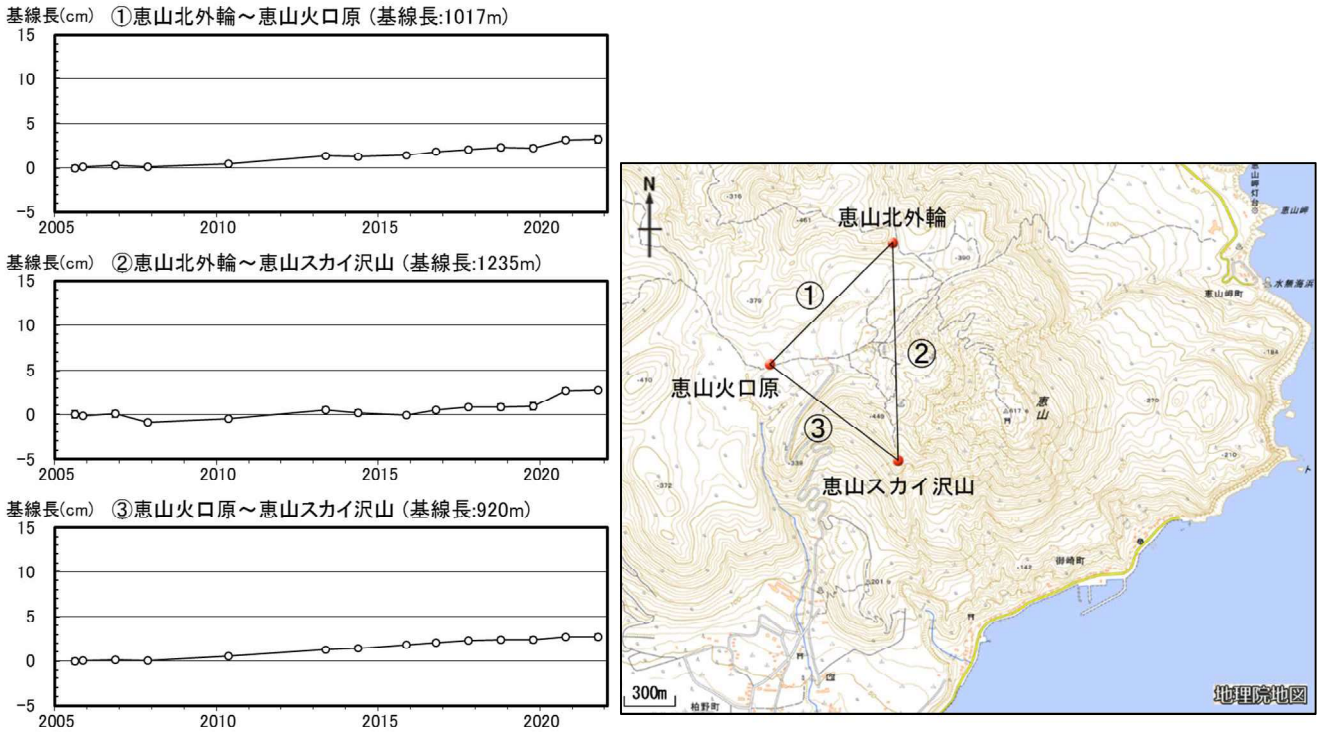


図９　恵山　GNSS 繰り返し観測による基線長変化及び観測点配置図（2005 年８月～2021 年 10 月）
・2019 年から 2020 年にかけて認められた基線長のわずかな伸長の変化は、2021 年の観測では確認されませんでした。

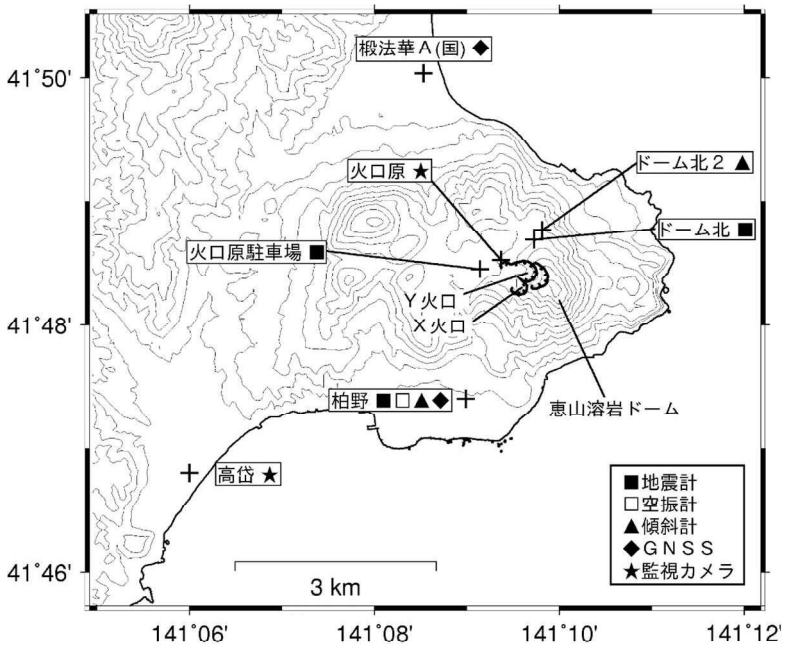


図10　恵山　観測点配置図
＋印は観測点の位置を示します。
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。
（国）：国土地理院